



一般社団法人 香川県臨床検査技師会 発行者：宮川朱美

「厚生労働大臣表彰」受賞

令和5年6月24日（土）、香川県臨床検査技師会の荒井 健前会長と小原 浩司経理部長が、令和5年度「厚生労働大臣表彰 臨床衛生検査業務功労者表彰」を受賞されました。

この賞は臨床検査の普及と発展に顕著に貢献した臨床検査技師に贈られるもので、長年にわたり臨床衛生検査業務を通じて、国民医療の向上に寄与した功績が評価されたものです。

この度の受賞は、香川県臨床検査技師会にとっても大変喜ばしいことであり、心よりお慶びを申し上げます。



第72回日本医学検査学会 in GUNMA」に参加して



松永 徹（香川大学医学部附属病院 病理診断科・病理部）

2023年5月19日から21日にかけて、群馬県高崎市で開催された第72回日本医学検査学会 in GUNMAに参加してきましたので、その様子を簡単にご報告いたします。今回の日本医学検査学会は、高崎芸術劇場と隣接するGメッセ群馬の2施設を会場として学会会期前日のスキルアップセミナーを始め、特別講演、企画講演、文化講演及び各分野の教育講演やシンポジウムなど多数の講演が開催されていました。一般公開講演としては、「群馬県の温泉を科学する」といった草津温泉や伊香保温泉などの名湯を擁する群馬ならではの講演やハンカチ王子として知られる斎藤 佑樹 元プロ野球選手の講演、また群馬交響楽団によるオーケストラの演奏などがあり、学術講演だけでなく群馬の歴史や文化、芸術にも触れられるユニークな学会プログラムでした。学会会場の雰囲気は、新型コロナウィルス感染症の5類感染症移行の過渡期にありましたが、運営上も概ね通常の学会開催スタイルに戻っており、会場の座席間隔やランチョンセミナーなども特に制限なく通常通り行われていました。香川県から今回の学会に参加するには、空路でも新幹線でも東京を経由する必要があり、移動に半日以上を要するため香川県からの演題登録や参加者は少ないようでしたが、参加者の多くがマスクを着用していることと随所にアルコール手指消毒剤が置かれていること以外は、普段と変わらない賑わいの学会会場でした。

今回、個人的にはコロナ禍以降、初の現地参加での学会参加でしたので、目標を3つあげて参加しました。ひとつは本来の出張用務でもある病理関連の会議に出席することですが、それ以外にスキルアップ研修会の参加と事前の抄録で興味ある内容の演題があったので、その演者へ質問をすることを心に決めて学会に臨みました。今回参加した認定病理スキルアップ研修会は、2022年度の診療報酬改定で新設された「報告書管理体制加算」の施設基準を意識して企画されたものと思われますが、安全推進研究所の河野 龍太郎先生による安全管理に関する講義と、この研修会で初めて会った参加者数名とインシデント、アクシデントの原因を解析するグループワークを交互に行い、その成果をプレゼンするといった実践形式で進められました。非常に盛りだくさんな内容でしたが、簡単に要旨を説明するとヒューマンエラーは人間の「行為」の結果であると定義される。事故が発生する

根本原因を特定するためには、心理学的な人間の行動パターンや行動モデルを理解した上で分析することで、確実な事故の再発防止策、または事故が起きても軽微で済むようリスクマネージメントすることができるといった内容でした。今回紹介された分析手法は「ImSAFER」と呼ばれ、航空機事故の原因解析や原子力発電所の運転マニュアルの作成などで実際に使用されているもので、「絶対に安全」が存在しない医療現場においても強力に機能することが体験できた研修会でした。3つ目の目標である演題発表者に質問してお近づきになることですが、実際に会場で手を挙げて演者に質問することは、少し勇気のいることです。しかし、考え方を少し変えてみれば、詳しく検討して知識や経験の豊富な演者に自分が知らないことをしかも「タダ」で教えてもらえる良いチャンスもあります。今回いくつか演者に質問をさせてもらいましたが、演者の回答だけでなく、意外にもフロアの参加者から追加で発言があり学会参加者からも有益なアドバイスを頂くことができました。その後、その方と直接名刺交換して今後も連絡が取れるようになり友達を1人ゲットしました。

新型コロナウイルス感染症の影響で多くの学会がICTを利用して現地に行かずとも学会や研修会に参加できるようになりました。オンデマンドで自分の都合の良い時間に好きな場所で発表を聞くことができる便利さは、コロナ禍で得られた数少ないメリットのひとつです。一方でWebによる講演は、発表者からの一方通行の会話になりますが、学会の参加者同士が気軽に交流できる環境は現地開催・現地参加でしか得られない貴重なものだと思います。また、現地で仕事と称して、飲み会や観光というセッションにも参加できる最大のメリットもあります。まだ新型コロナウイルス感染症の行方は不透明ですが、Webや現地参加の学会を上手に利用して、日常業務や研究などの生涯学習に役立てていきたいと思います。

最後に、本誌面で報告の機会を与えて頂いた宮川会長、および今回の学会でお世話になった方々にこの場をお借りしてお礼申し上げます。



(高崎だるま)



(だるまの目入れ)



(職場の皆さん)

《研修会のご案内》

① 令和5年度 高臨技・四県合同研修会（輸血検査研究班）

連絡責任者：渡邊 良 ☎ 0877-23-3111（内線 3206）

日 時：令和5年8月5日（土）・6日（日）

初級は8月5日（土）1日のみで終了 / 中級は8月5日（土）・6日（日）の2日間

場 所：高知学園大学 8号館2階、3階

募集人数：先着 初級30名 / 中級20名

参加資格：四国四県の臨床衛生検査技師会会員に限る

参加費：初級10,000円 / 中級20,000円 生涯教育点数：専門 初級20点 / 中級30点

事前参加申込期間：2023年5月22日～6月2日 *定員になり次第締め切ります。

申込み：日臨技会員の方は日臨技HPから事前参加登録をお願いします。

備 考：その他詳細は日臨技HP、香臨技HPをご確認ください。

② 2023 年度 香臨技 新（再）入会研修会のお知らせ

日 時：令和 5 年 10 月 1 日（日）9:00～12:00

場 所：香川県立保健医療大学 講義棟 3 階大講義室

内 容：「香川県臨床検査技師会・日本臨床衛生検査技師会について」

「医療安全と接遇について」「香臨技の精度管理事業について」

「技師会広報活動について」「研究班活動について」

申込み：必要ありません

参加費：無料 生涯教育研修：基礎 20 点

③ 令和 5 年度 香臨技・四県合同研修会（微生物検査研究班）

連絡責任者：藤川 栄吏 ☎ 0877-23-3111

テーマ：『AST 活動に貢献できる微生物検査技師を目指して』

日 時：令和 5 年 10 月 14 日（土）12:50～17:00

場 所：香川県立保健医療大学 講義棟 3 階大講義室

参加費：2,000 円（検査技師で非会員の方は、参加費 8,000 円。学生無料。）

日臨技生涯教育点数：専門 20 点

内 容：1) *Actinotignum schaalii* による菌血症の 1 例

社会医療法人近森会 近森病院 臨床検査部 森本 瞳

2) CD 毒素遺伝子検査と Toxigenic culture 法の比較検討

徳島大学病院 医療技術部 臨床検査技術部門 別所 将弘

3) *Nocardia farcinica* による脳膿瘍の一例

愛媛県立中央病院 村上 悠里子

4) 術前眼脂培養より *Exophiala dermatitidis* が検出された 1 症例

独立行政法人労働者健康安全機構 香川労災病院 糸井 優風

「チーム医療において微生物検査技師に求めるもの」

【講演 I】感染症専門医師の立場から

香川大学医学部附属病院 感染症センター センター長 横田 恭子 先生

【講演 II】感染制御認定看護師の立場から

坂出市立病院 塚田 由美子 先生

【講演 III】

「臨床微生物検査室のあるべき姿」

愛媛大学医学部附属病院 宮本 仁志 先生

参加申込方法：日臨技会員の方は日臨技 HP より事前参加登録をお願いします。

参加申込期限：9 月 15 日（金）

学術部からのお知らせ

【香川県臨床検査技師会誌 論文募集】

学術部では、香川県臨床検査技師会誌の論文を募集しています。皆さんが学会等で報告した研究成果を論文形式にまとめてみませんか。初めての方でも担当部門の班長などが指導してくれますので、是非この機会に挑戦してみてください。書式については香川県臨床検査技師会誌の投稿規定を参照してください。

締 切：令和 5 年 10 月 20 日（金）

連絡先：香臨技学術部 香西（nobuhide@dream.com）

中四国支部医学検査学会(第56回)(愛媛県)のご案内



2023年度日本臨床衛生検査技師会 中四国支部医学検査学会(第56回)

会期 令和5年9月16日㈯・17日㈰

学会長 高村 好実

愛媛県臨床検査技師会 会長

会場 愛媛県県民文化会館



*事前参加登録推進：令和5年8月16日(水)まで延長されました。

5年ぶりに四国で現地開催される支部学会です。この機会に参加をご検討ください

全国「検査と健康展」in フジグラン丸亀 (スタッフ募集)

日 時：令和5年9月24日(日) 9時～16時
場 所：フジグラン丸亀 〒763-0092 香川県丸亀市川西町南1280番地1
内 容：超音波体験、両上肢血压測定、酸素飽和度、骨密度測定、資料配布など
備 考：今年度は作業療法士会と理学療法士会の健康フェスタも同時開催されます。
連絡先：三豊総合病院 中央検査部 藤村一成まで
TEL 0875-52-3366 (内線 2406) E-mail m-kensa@mitoyo-hosp.jp

・編集後記・

7月21日、ようやく四国地方の梅雨が明けました。海の日、山の日、夏休み！本格的な夏の始まりです。5月に屋島山上の北嶺を散策しました。屋島北端の遊鶴亭展望台からは長崎の鼻や瀬戸内海が一望でき、千間堂跡には睡蓮が咲いていました。海からの風が心地よく吹き抜け、景色を楽しみながら歩くこと1時間余り、海と山から自然のパワーを感じることができました。

新型コロナが5類感染症となり、マスクを外して歩く人も多くなりました。しかし、感染の第9波の可能性も示唆されており、熱中症対策とともに、感染対策にもまだ注意が必要なようです。

小林 万代 (海部病院)



～香臨技 求人情報～

現在、四国こどもとおとなの医療センター、香川大学医学部附属病院 病理部、木太三宅病院、その他の求人情報があります。詳しくは、香臨技ホームページをご覧ください。

求人募集依頼の連絡先：森本 弘美 (香川県立中央病院 中央検査部)
アドレス：morippi7chin6445@gmail.com

臨検タイムス原稿送付先

〒761-0104 香川県高松市高松町2365

医療法人社団 海部医院

小林 万代まで

Eメール：kobaboo0128@hotmail.co.jp

TEL087-843-3666 FAX087-843-3667

*香臨技ホームページ「会員専用」

(ユーザー名 karingi2008 パスワード 0001)

臨検タイムス香川 通巻336号

【発行所】

一般社団法人 香川県臨床検査技師会

〒761-0704 香川県木田郡三木町下高岡2695-13
事務局携帯電話 090-5913-1385

【編集責任者】 小林 万代 藤村一成 太田 安彦

【編集委員】 藤重 和久 森西 起也 森本 弘美

【製作】 有限会社シーアンドシーイシハラ
令和5年7月発行